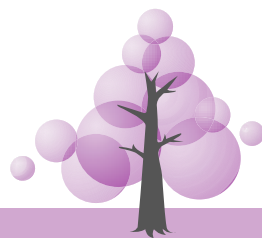


# 男女共同参画ひろば いっぱいっぼ

市では「富士見市男女共同参画推進条例」を制定し、性別にかかわらず、個人の能力が尊重される社会をめざして“いっぱいっぼ”取組みを進めています。

問合せ／人権・市民相談課 ☎273



## 男女共同参画キーワード

### 富士見市男女共同参画推進会議の活動

市では、推進会議の皆さんとともに毎年講演会や講座の企画・運営をしています。

推進会議のメンバーに昨年から加わった山本さんに、活動についてのインタビューをさせていただきました。



### 推進会議に入ったきっかけを教えてください

出版関係の仕事をする中で、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスなどの取材、会社の労働組合活動でも男女共同参画に携わる機会がありました。そんな時に、広報『ふじみ』に推進会議の委員募集があり、自治体の考える男女共同参画とはどういうものなのかということに興味を持ったので応募しました。

### 推進会議に入って変化したことはありますか

仕事などで日中はほとんど都内にいる「埼玉都民」として寝に帰るだけだった富士見市に興味を持つようになりました。

自治体運営だけでなく、富士見市という土地や風土、市民性というものにも興味がわきました。昨年の元東レ総合研究所長の佐々木常夫氏の講演を行った時、多くの方が参加され、講演後の質問内容を聞いた時に“富士見市民は意識が高い”と感じました。富士見市で生まれ育って、今までそんなに意識の高い地域ではないと感じていたのですが、自分の故郷を見直しましたね(笑)。



山本さん

### 今年はどんな事業に取り組みたいですか

男女共同参画というのは、啓蒙活動がとても大切なものだと思います。特に働く人の多くは、市の事業に興味を持っている人が少ないと思います。

そういう人たちに、事業を周知して参加してもらう。難しいことかもしれませんが、市民の皆さんが興味を持つようなコンテンツを提供しなければ人は集まってくれませんし、人が集まらなければ啓蒙になりません。ですので、市民の皆さんの参加機会を増大させるような魅力的で話題性のある事業を企画できればと思っています。

### 山本さんが思う男女共同参画とは

男女共同参画とは、仕事・家庭生活において、性別に関係なく、できることをお互いに補完しあうことだと思います。日本には昔から、男は仕事、女は家庭といった役割分担意識があり、今も根強く残っています。しかし今は、性別に関係なく仕事・家庭生活をする時代になり、意識を大きく変える時代になったと思います。

少子高齢化になり、家庭だけでなく企業でも女性の労働力が必要になってきています。男性も家事・育児・介護を平等にやらなくては行けない時代です。若い女性の専業主婦願望や出世欲の低さを示すデータもありますし、個人の選択などは難しい問題になりますが、とにかく今まで男性が仕事を理由に参加していなかった分野について、個人も企業も意識を変えていかなければならないと思います。

### 最後にメッセージをどうぞ

働きながら子育てをしている女性には「イクメン」という言葉に納得がいかない人も多いかと思います。しかし、やっと男性が家事や育児に参加する風潮が出てきたところなので、「手伝ってくれるだけ助かる！」くらいに思って、ある程度は大目に見ていただければと思います。

男性に言いたいことは「育児休業を取ってください」ということです。私自身、子どもが生後8か月の時に育児休業を取って、子育てや子どもに対する考え方が変わった経験を持っています。短期間でもいいので、育児休業を取って、赤ちゃんとおべつたり一緒に生活してみてください。子育てだけでなく、奥様の苦労も分かります。そういったことから男女がお互いを支えあいながら、男女共同参画の意識が皆さんに芽生えてくれればいいと考えています。



### 「富士見市男女共同参画推進会議」の委員を募集中!

市のボランティア委員として、講演会・講座・セミナーの企画や運営を一緒にやってみませんか。

**申込方法**／応募用紙を郵送または直接提出してください。  
〒354-8511 (住所不要) 富士見市役所人権・市民相談課  
※応募用紙は人権・市民相談課または市ホームページから入手できます。

※詳しくは市ホームページ「市政・まちづくり」から「男女共同参画」をご覧ください。

問合せ／人権・市民相談課 ☎273

